

令和5年度和名ヶ谷中学校 3学期学習の指針（シラバス）

教科	国語	学年	1年
----	----	----	----

1 学習の目的

◆国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
3 学 期	・言葉がつなぐ世界遺産	・説明的文章の構成に着目し、展開を捉えて文章を読むことができる。
	・文法	・言葉一つ一つが持つ特性を理解し、文章に表現された内容を間違っ理解することがない状態にする。
	・少年の日の思い出	・文体から時制を理解することで、小説の構成（複数の時間軸がある）を把握できる。 ・批判的な読みを行うことで、虚構を見抜くことができる。 ・一人称の語りを持つ特徴を理解した上で小説を読み、語り手の思いを想像する。
	・漢字の学習	・漢字の読み書きを自分なりの工夫を凝らして練習し、小テストにおいてその成果を出すことができる。

3 評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
知識・技能	・社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適度に使おうとしている。	・定期テスト ・文法 ・漢字小テスト
思考・判断・表現	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・定期テスト ・スピーチ ・文章の読解 ・作文 ・聞き取りテスト
学びに向かう姿勢	・言葉を通じて積極的に人と関わり合ったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。	・学習用具の準備 ・授業態度 ・発表 ・提出物の取り組み状況 ・日常の学習状況

4 使用する副読本

題名	出版社
単元別漢字	秀学社
よくわかる国語の学習 1	明治図書

令和5年度和名ヶ谷中学校 3学期学習の指針（シラバス）

教科	国語	学年	2年
----	----	----	----

1 学習の目的

◆国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
3 学 期	・説明的文章『ガイアの知性』	・説明的文章の構成に着目し、展開を捉えて文章を読むことができる。
	・小説『走れメロス』	・物語のあらすじを読み取り、登場人物の心情の変化に気づくことができる。友情の大切にも触れることができる。
	・文法『活用のない自立語』	・活用のない自立語のはたらきを理解する。
	・文法『活用のある自立語』	・自立語の中で活用がある品詞をとらえる。動詞などの活用の仕方を理解することができる。
	・文法『付属語のいろいろ』	・付属語にはどのようなものがあるのかを知る。

3 評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
知識・技能	・社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適度に使おうとしている。	・定期テスト ・文法 ・漢字小テスト ・暗唱テスト
思考・判断・表現	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・定期テスト ・スピーチ ・文章の読解 ・作文 ・聞き取りテスト
学びに向かう姿勢	・言葉を通じて積極的に人と関わり合ったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。	・学習用具の準備 ・授業態度 ・発表 ・提出物の取り組み状況 ・日常の学習状況

4 使用する副読本

題名	出版社
単元別漢字2	秀学社
国語の学習2	明治図書
図解で！わかる文法	学宝社

令和5年度和名ヶ谷中学校 3学期学習の指針（シラバス）

教科	国語	学年	3年
----	----	----	----

1 学習の目的

- ◆多くの文章を読むことで、他者の考えをより深く理解する力と、自分の考えを的確に表現する力を養い、言語によるコミュニケーションの質の向上を目指す。
- ◆語彙を増やすことで、自分の考えを表現することへのモチベーションを高める。

2 学習計画

	学習内容・教材	学習のねらい
3 学 期	・課題作文	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を正確に読み取り、自分の意見を持つことができる。 ・自分の意見を、構成を考え、時間制限・字数制限を守って書くことができる。 ・より多くの問題を解くことにより、時間の短縮を図る。
	・魯迅 「故郷」	<ul style="list-style-type: none"> ・構成を踏まえて長文を読む。 ・理解や表現のために必要な語句の量を増やし、作文や会話に使用することができる。 ・一人称の語りの特徴を復習した上で作品を読み、作品の主題を自分なりに考える。 ・人間や社会などについて自分の意見を持つ。
	・慣用句・ことわざ 文学史	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな語句とその意味を知り、自身を語る作文中で活用できるようにする。（復習） ・大きな文学の流れと作品作者名を理解する。 ・タブレットを活用し、短時間でも学習する時間と気持ちを高める。
	・バースディ・ガール	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の読書生活を振り返り、さまざまな本や文章に触れる。 ・自分だとしたらどのように考えるかを想像し文章にまとめる。
	・小説「最後の一句」	<ul style="list-style-type: none"> ・「最後の一句」を読み、登場人物の行動の理由や作者が作品に込めた思いを想像し、話し合い、考えを構築する。
	・慣用句・ことわざ 文学史・四字熟語	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな語句とその意味を知り、自身を語る作文中で活用できるようにする。 ・大きな文学の流れと作品作者名を理解する。
	・文法	<ul style="list-style-type: none"> ・入試に関しての文法の総復習を行い、理解を深め、入試問題に取り組む。
	・模擬問題練習	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験に取り組み、時間配分や苦手な分野を理解し対策を立てる。 ・解答の方法やポイントを理解し、基礎知識を身につける。

3 評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の音、形、意味を理解し使っている。 文法（助動詞のはたらき等）、ことわざや慣用句、四字熟語などの言葉の使われ方を理解している。 古文のリズムや言葉の意味、文法のきまりなどを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト（漢字・文法・語句・古文） 古文暗唱
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 話すこと（スピーチ）、書くこと（作文）において、聴衆や読者を意識して、より自分の考えや思いが伝わるよう構成、表現を工夫している。 読むこと（文章読解）、聞くこと（聞き取り）においては、問いに対する答えを、文章、放送の語句を根拠にして判断し答えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 単元プリント スピーチ 作文 聞き取りテスト
学びに向かう姿勢	<ul style="list-style-type: none"> 言語で表現されたさまざまな考えに興味を持ち、他の考えを積極的に吸収しようとしている。 学習を振り返ることで、自身の語感を豊かにしようとしたり、知り得た知識を生活に結び付けようとしたりしている。 単元プリントの解説・説明を通して多くの知識を身につけようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に対する意欲 漢字小テスト 授業のワークシート（人物相関図作成、論理展開の図式化）等 単元プリント

4 使用する副読本

題名	出版社
単元別漢字	秀学社
国語便覧（千葉県版）	浜島書店
学習の達成	新学社
千葉県リハーサル直前対策4回	浜島書店
すらすら基本文法	浜島書店